

パフォーマンス公演

身奏／休息

2015年7月31日(金)

開演:19時(開場:18時30分) 終演:19時40分

*当日は17時より入場整理券を配布します。

会場:神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

申込不要、入場無料

振付・出演……島地保武(ダンサー・振付家)

友情出演……アマンシオ・ゴンザレス(ザ・フォーサイズ・カンパニー)

音楽……古川展生(チェリスト)

休息中の静まり返った美術館内に、2人のダンサーと1人のチェリストによる『生身で音を奏でるトリオ』が密やかに登場します。生身生音が互いに絡み合い、ぶつかり合い、離れ合い、掛け合いながら、不規則に予測不可能に館内を移動しながら即興で身奏していきます。展示物のない美術館では人が動くオブジェになり、人の動きと移動の軌跡がやがて作品になります。このパフォーマンスでは、オーディエンス一人一人の立ち位置や話し声や足音や吐息までもパフォーマンスに大きく影響し、作品の一部と化していきます。そして、パフォーマーとオーディエンスの垣根を取り払った、相互のリアクションの連続が起こることでしょう。

[島地保武]ダンサー・振付家。2004年～06年Noism(新潟市)に所属。06年ザ・フォーサイズ・カンパニー(ドイツ・フランクフルト)に入団、カンパニーの中心的メンバーとして活躍。その一方で自身の創作活動と日本でのワークショップを精力的に行っている。13年島地保武+酒井はなによるユニットaltneuアルトノイを結成。15年4月より第七次椿会に新メンバーとして参加。
www.shimaji.jp

夏の葉山の美術館
ひとつの展覧会がおわり、
次の展覧会が始まるまでの間、
展示室はひとときだけからっぽに。
なにもない空間で、
この夏なにかが起こります。

音楽イベント

葉山アンビエント

the Ambient Surroundings in HAYAMA

2015年8月1日(土) 入場・開演:15時 終演:16時

*当日は13時より入場整理券を配布します。

会場:神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

申込不要、入場無料

Electronics……蓮沼執太、イトケン、比嘉了、千葉広樹、和田永

Performance……岩淵貞太 Lighting……渡辺敬之

PA……葛西敏彦 企画構成……蓮沼執太

美術作品が何も展示されていない空っぽの美術館。すべて電子音で構成されたクインテットによる即興演奏が美術館の空間を支配します。各展示室にバラバラにインストールされた5人による電子音はオーディエンスを囲うように新しいアンビエント・ミュージックとして立ち上がってきます。また、渡辺敬之によるライティング、岩淵貞太によるパフォーマンスは、オーディエンスの動きと呼応するように即興的に変化し、その環境へと帰っていきます。この場所を訪れたオーディエンスは、神奈川県立近代美術館 葉山の各展示室を動き回ることによって各々響き渡る電子音のひとつひとつを繋ぎ止め、音楽として、環境として、サウンド作品に触れることができます。

[蓮沼執太]音楽家。1983年東京都生まれ。音楽作品のリリース、蓮沼執太フィルを組織して国内外でのコンサート公演、映画、舞台芸術、音楽プロデュースなど領域横断的表現を多数制作する。また近年では作曲という手法を様々なメディアに応用し、映像、サウンド、立体、インスタレーションを発表、個展形式での展覧会やプロジェクトを発売に行っている。

www.shutahasunuma.com

Photo / Kijuro Yahagi